

EasyChain 18V-15-7



取扱説明書

このたびは、弊社コードレスハンディソーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

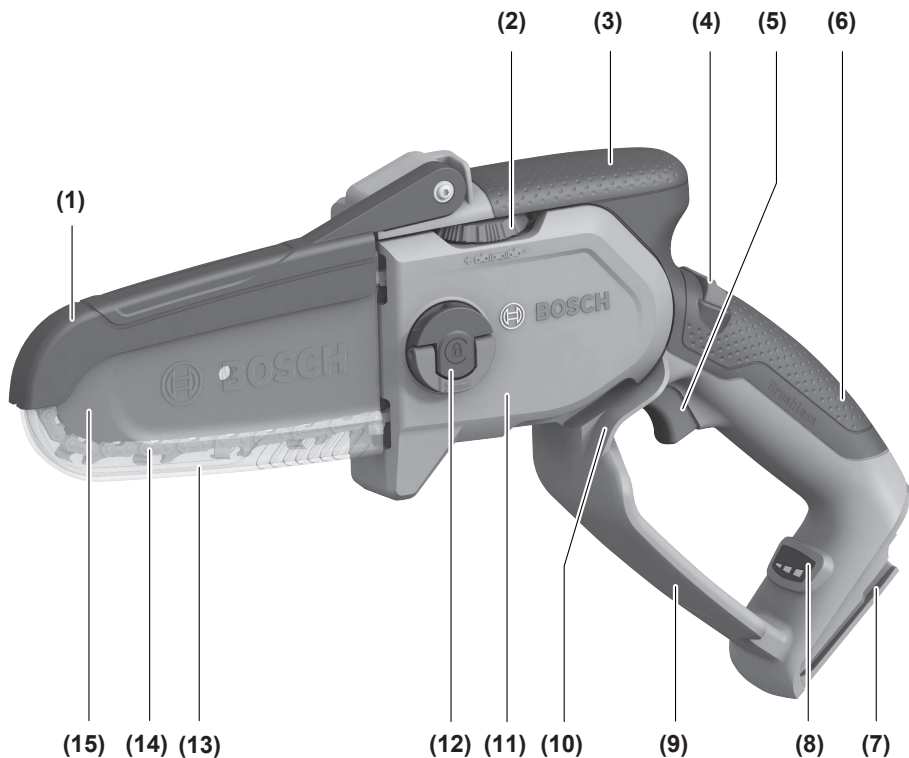


用途	11
記号について	11
警告表示の区分	12
安全規則	12
一般的な電動工具の安全に関する警告	12
安全上のご注意	14
コードレス電動工具全般についての注意事項	14
ハンディソーについての注意事項	17
キックバックについての注意事項	19
本製品について	20
各部の名称	20
標準付属品	20
仕様	21
使い方	22
バッテリーを準備する	22
作業前の準備をする	22
作業する	24
バッテリーを長持ちさせるために	27
リサイクルのために	27
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	27
お手入れと保管	28
クリーニング	28
定期点検	28
保管	28
廃棄について	29
困ったときは	30
故障かな?と思ったら	30
修理を依頼するときは	32

A

Empty Chain 18V-16-7		
S 850 V160 800		
18V max	Chain bar: 16 cm	96 dB
ZZZXXXXXX	MM/YYYY	
Robert Bosch Power Tools GmbH, 71030 Stuttgart, GERMANY GB Importer: Robert Bosch Ltd., Broadwater Park, North Circular Road, Uxbridge, UB8 3HJ Made in Hungary (CB)		

(18)



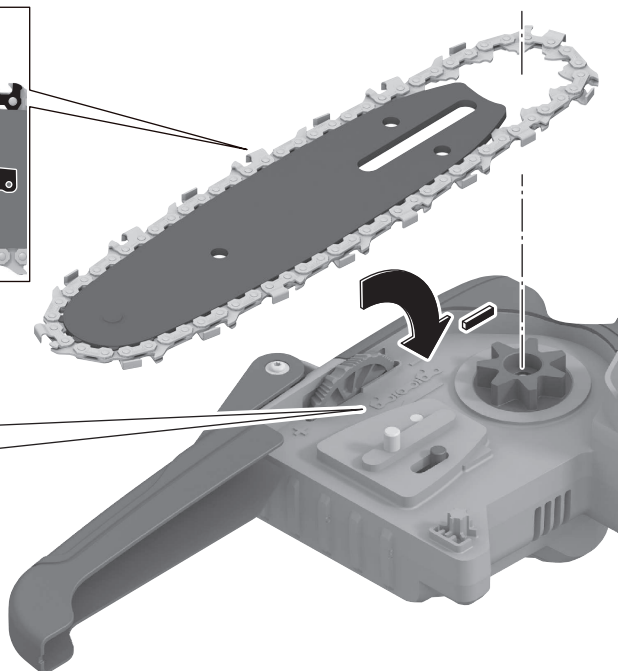
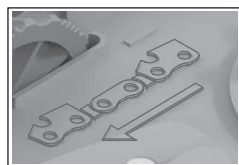
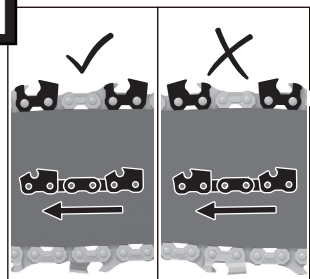
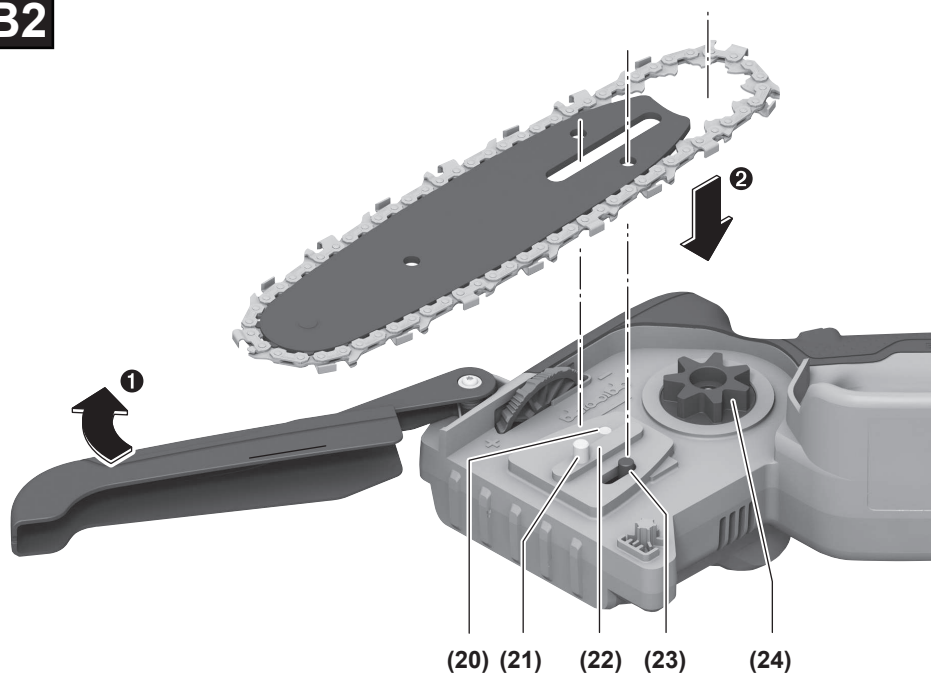
Kit Version

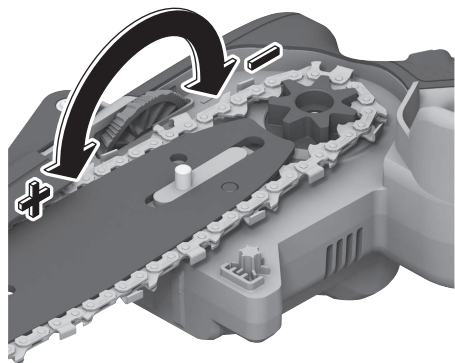
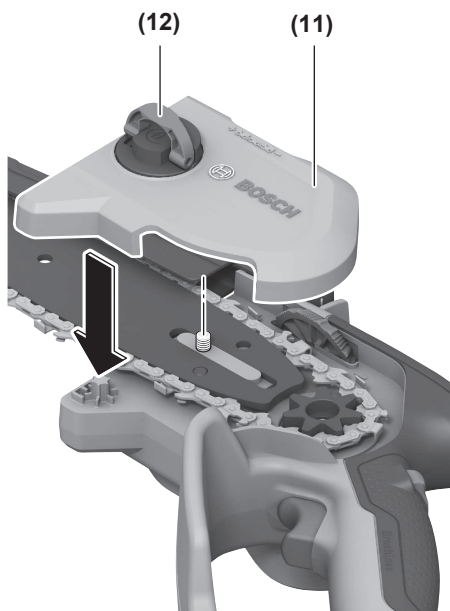
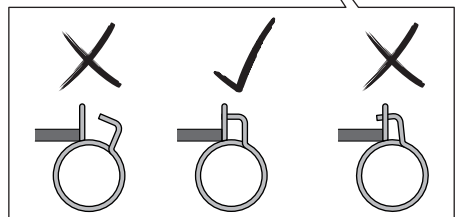
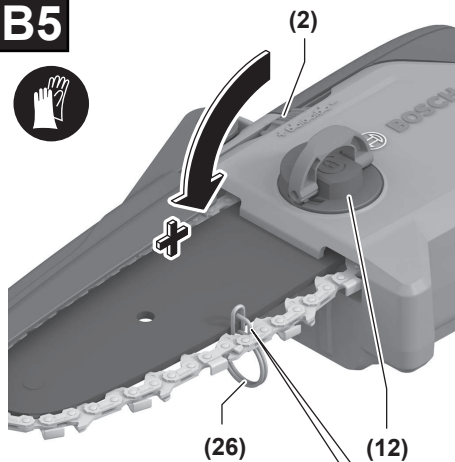
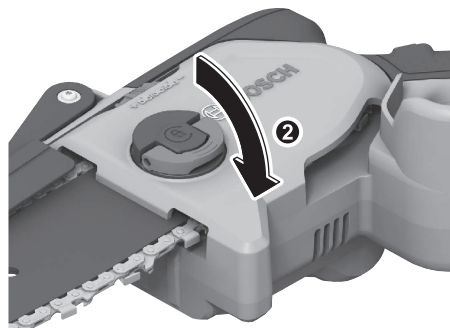
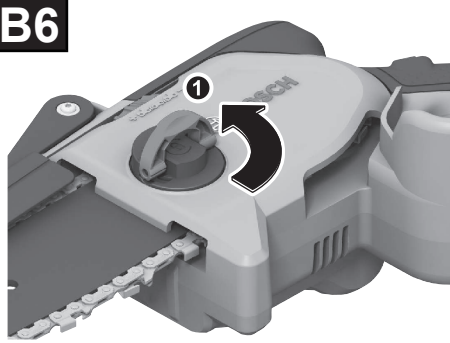


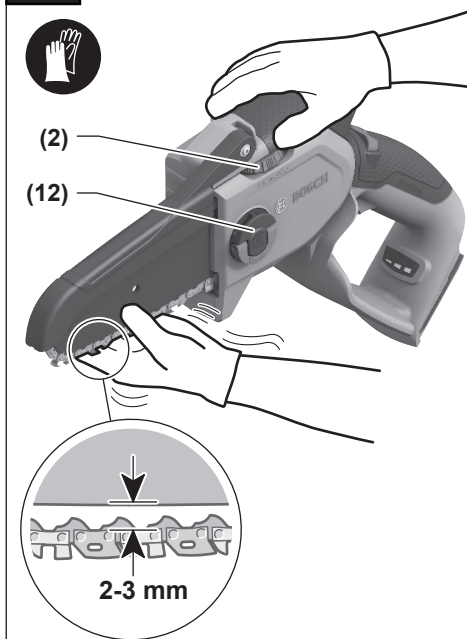
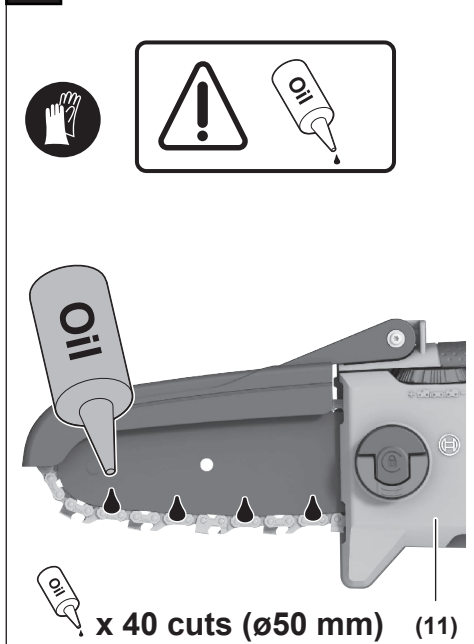
(16)

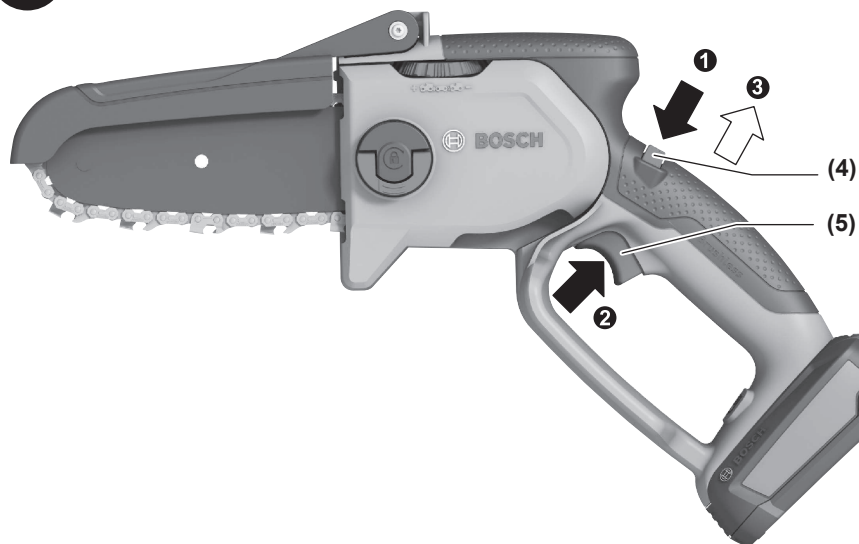
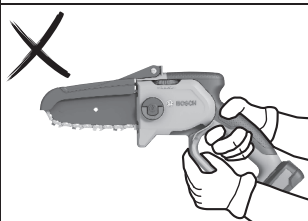
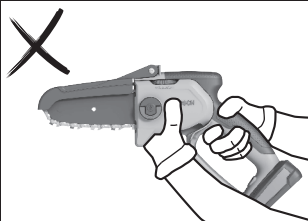
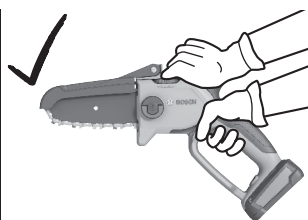
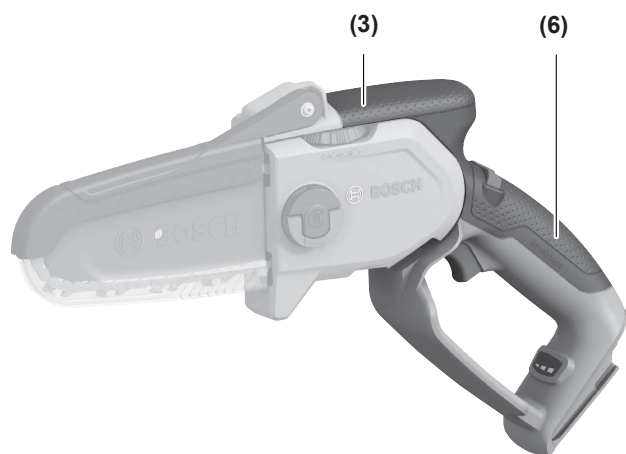


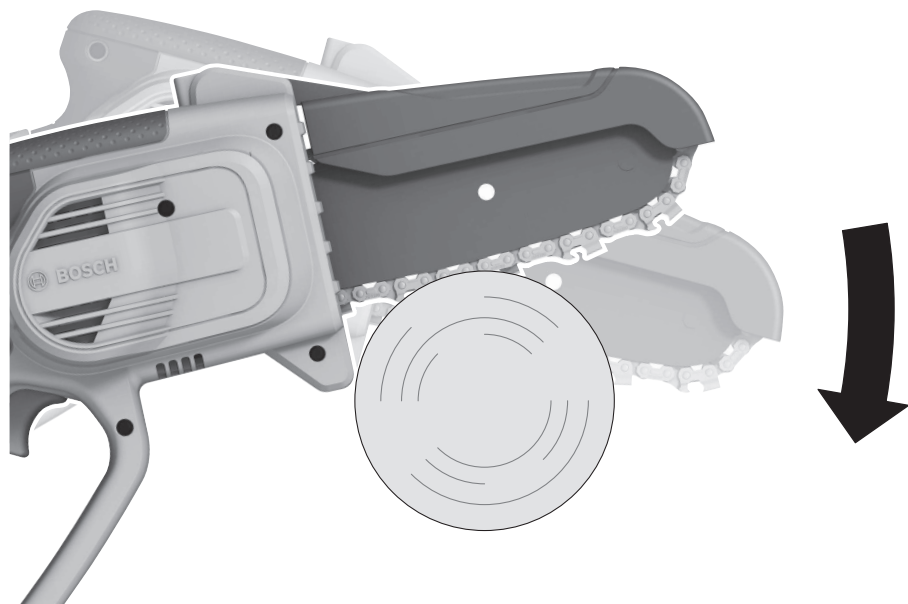
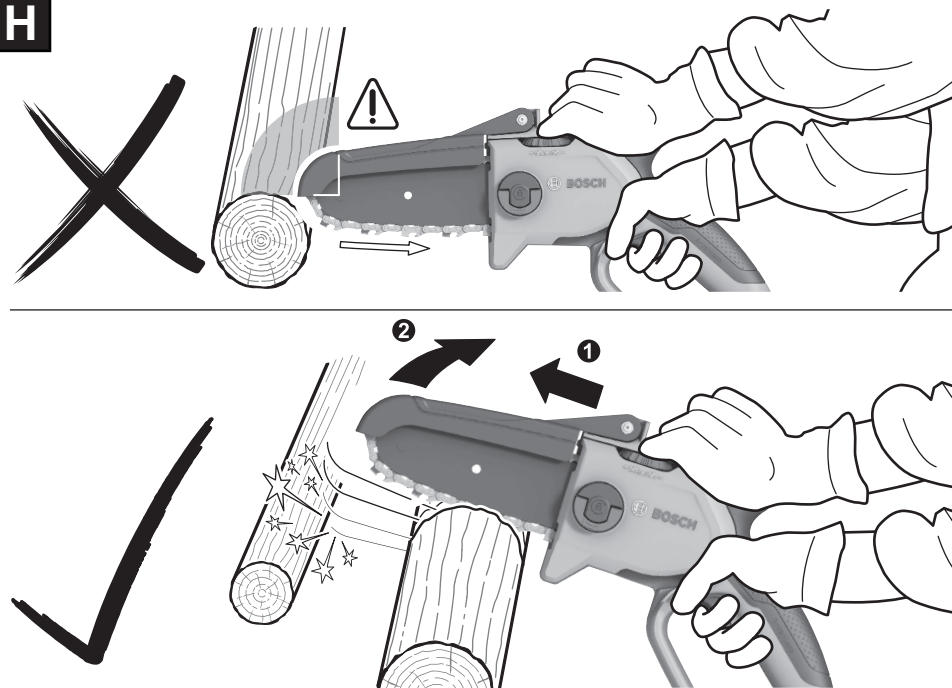
AL 18-20 CV (17)

B1**(19)****B2**

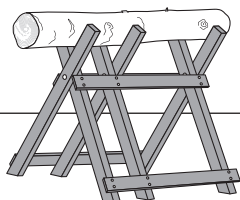
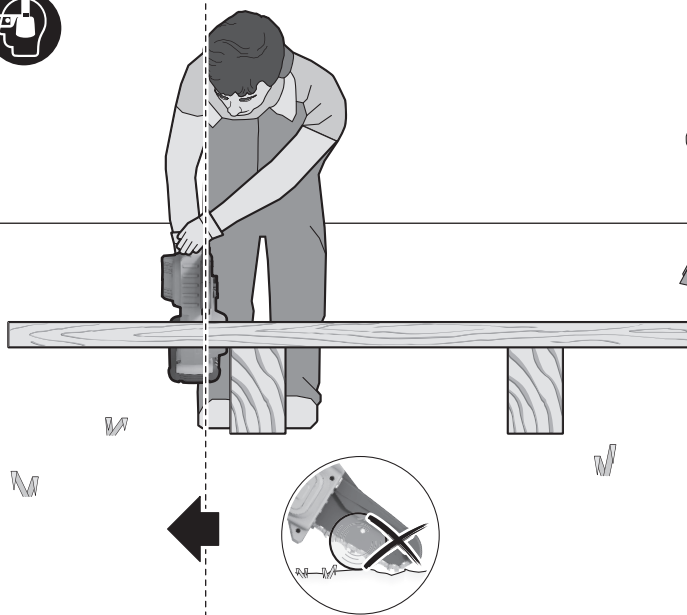
B3**B4****B5****B6**

B7**C****D**

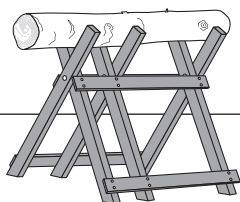
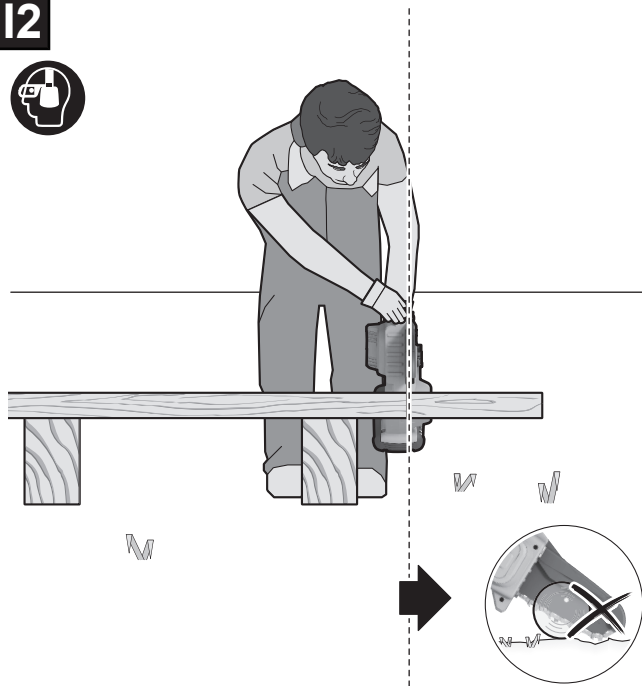
E**F**

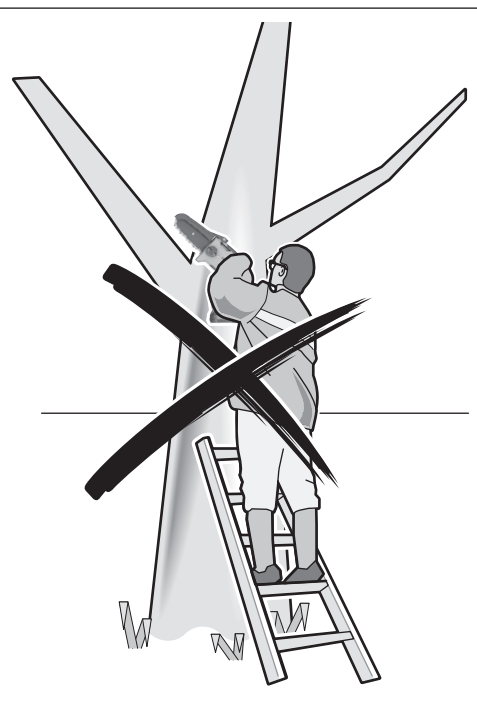
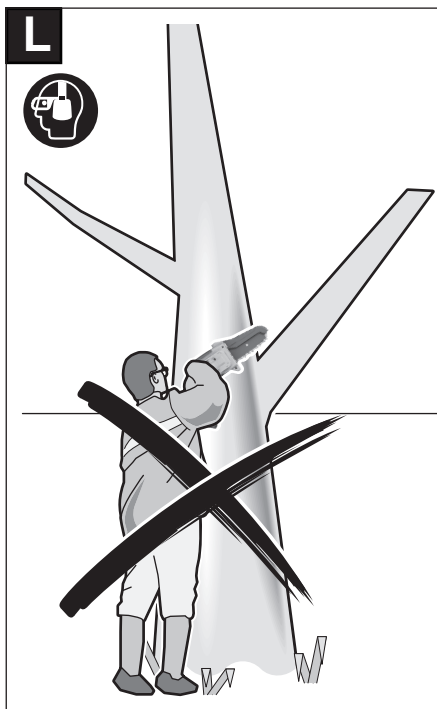
G**H**

11



12





用途

- ◆ 木材の切断
- ◆ 枝の切断 (枝打ち、切り落とし)
- ◆ 丸太の切断

※ 本製品の能力内での使用に限ります。
 ※ 本製品は、ご家庭での使用を想定した製品です。
 ※ 木の目に沿っても、木の目に直角でも切断できます。
 ※ 金属、鋳物、石こうボードの切断には適していません。
 ※ 下から上への切断やプランジカット、木の伐採には適していません。

🔋 電動工具は、両手で操作する必要があります。

記号について

警告銘板、電動工具、取扱説明書には下記の記号が表示されています。

記号の意味を十分理解して電動工具を使用してください。

記号の正しい解釈は、商品をより安全な方法で使用するために役立ちます。

	注意してください
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク (リチウムイオンバッテリー)
	リサイクル識別表示マーク (紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク (プラスチック製容器包装)

	直流
	欧州の基準適合表示
	欧州で使用されるWEEE指令の適合表示
	英国の基準適合表示
	EUで使用される騒音表示
	雨にさらさないでください
	必ず両手で持ちます
	キックバックに注意し、チェーンバーの先端での切断は避けてください
	動いているチェーンに手を近づけないでください
	目と耳の保護具を着用してください
	手の保護具を着用してください
	注油してください
	警告: メンテナンスの前にバッテリーを取り外してください
	作業する場所に野生動物やペットが居ないことを慎重に確認してください 作業中に野生動物やペットが電動工具によって怪我をする可能性があります 作業エリアを徹底的にチェックし、石、棒、ワイヤー、骨、異物を取り除きます

	作業中は子供や周囲の人を近づけないでください 注意力が散漫になると、電動工具のコントロールを失う恐れがあります
	移動方向
	反応方向
	許可される行為
	禁止行為
	作業中は、保護めがねを着用してください

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は、**危険**、**警告**、**注意**に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

△危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

△警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全規則

一般的な電動工具の安全に関する警告

△警告

電動工具とともに提供される全ての安全上の警告、指示、図解および仕様をお読みください。

次に示す全ての指示に従わない場合には、感電、火災および重傷を負う恐れがあります。必要に応じて読むことができるように、全ての警告および指示を後日のために保管してください。

次に示す全ての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示す。

a) 一般的な電動工具の安全性に関する警告【作業場】

- 1) 作業場は整理整頓し、十分に明るくしてください。散らかった暗い場所で作業すると事故の原因となります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。電動工具から発生する火花は、粉じんまたは蒸気（ヒューム）を発火させることがあります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近付けないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

b) 一般的な電動工具の安全性に関する警告【電気的安全性】

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。アダプタープラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 3) 電動工具を雨または湿気のある状態にさらさないでください。電動工具に水が入る

と、感電する恐れがあります。

- 4) コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動工具を引き寄せたり、または電源プラグを抜くためにコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な角または動いているものに接触させないでください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電する恐れがあります。
- 5) 電動工具を戸外で用いる場合は、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 6) 電動工具を湿った場所で用いることが避けられない場合、漏電遮断器 (RCD) によって保護された電源を使用してください。漏電遮断器 (RCD) を使用することで、感電のリスクは低減されます。

c) 一般的な電動工具の安全性に関する警告 [人的安全性]

- 1) 電動工具の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意してください。電動工具の使用中は、自らの動作に対する作業安全を常に考慮してください。疲れている、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。電動工具の使用中的一瞬の不注意で、深刻な人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。
- 3) 意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動工具を運ばないでください。電源プラグを差し込む前に、スイッチが“切”の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけて電動工具を運んだり、スイッチが“入”の位置になった電動工具の電源プラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動工具の回転部分に調整キーまたはレンチを付けたままにしておくと、人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場およびバランスを維持してください。これによって、予期しない状況で

も電動工具を適切に操作することができません。

- 6) だぶだぶの (余裕のある) 衣服または装飾品は身に付けず、きちんとした服装で作業してください。髪、服および手袋を回転部分に近付けないでください。だぶだぶ (余裕のある) の衣類、装飾品または長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。
- 8) 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

d) 一般的な電動工具の安全性に関する警告 [バッテリー 電動工具の使用および手入れ]

- 1) 弊社が指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外では充電しないでください。指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外で充電すると、火災を発生する恐れがあります。
- 2) 電動工具は、指定するバッテリー以外は、使用しないでください。指定していないバッテリーを使用すると、人的被害および火災のリスクを生じる恐れがあります。
- 3) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなどの金属物、または端子間を短絡する恐れがあるその他の小さな金属物と分けて保管してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災を生じる恐れがあります。
- 4) 過度な条件の下では、バッテリーから液体が漏れいすることがあります。バッテリーから漏れいした液体への接触は避けてください。漏れいした液体に接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。バッテリーから漏れいした液体は、炎症またはやけどの原因となる恐れがあります。
- 5) 破損または改造したバッテリーや電動工具を使用しないでください。使用すると、火災や爆発、若しくはけが、予期しない動作を生じる恐れがあります。
- 6) 火または高温にバッテリーや電動工具をさらさないでください。火または130℃以

上の温度にさらすと爆発する恐れがあります。

- 7) 取扱説明書の指示に従って充電してください。取扱説明書で指定する温度範囲外では、バッテリーまたは電動工具を充電しないでください。不適切または指定範囲外の温度で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険が増大します。

e) 一般的な電動工具の安全性に関する警告 【修理】

- 1) 電動工具の修理は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理するように依頼してください。これによって、電動工具の安全性が維持できます。
- 2) 損傷したバッテリーは、修理しないでください。損傷したバッテリーの修理は、弊社または認定整備業者に依頼してください。

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

⚠ 危険

- ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
電動工具の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

- バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。
- ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- 電動工具やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。
- ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。
- 専用の充電器以外では、充電しないでください。
- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。
- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
- ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。
- ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

- 正しく充電してください。
- ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。

- 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 感電に注意してください。
- ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。
- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、電動工具が冷めるための時間を設けてください。
- ◆ 複数個による連続作業は、電動工具に支障をきたすばかりでなく、電動工具の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。
バッテリーから蒸気が発生する場合があります。
蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。
- ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- 作業に合った電動工具を使用してください。
- ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリ以外は使用しないでください。
- ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 加工するものをしっかりと固定してください。
- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
- ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- 雨中での作業は行わないでください。また、電動工具を雨ざらしにしたり、めれた場所に置いたりしないでください。
- ◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
- ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - － できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - － 作業場所の換気に注意してください。
 - － DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。
 作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。

- ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 防音保護具を着用してください。
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。
- きちんとした服装で作業してください。
- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。
- 電動工具にバッテリーを取り付けたり取り外したりするときは、スイッチが“切”になっていることを確認してください。
- ◆ スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを取り付けたり取り外したりすると、事故の原因になります。
- 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。
修理を依頼してください。
- 作業中に電動工具の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 無理して使用しないでください。
- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
- 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電動工具からバッテリーを取り外してください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、電動工具や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
- ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。
- ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
- ◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。
- ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。
- ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。
- 電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。
- ◆ 爆発の恐れがあります。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ 電動工具やバッテリーを、温度が50℃以上上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。
- **安全上のご注意は、必ず守ってください。**
- ◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- **電動工具の修理は、専門店に依頼してください。**
- ◆ サービスマン以外の人は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。
- ◆ この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- **この電動工具は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。**

- ◆ この電動工具で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

● 搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。第三者が運搬する場合(例えば空輸あるいは代理店経由)、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。

△ 注意

- **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
- ◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
- ◆ 材料や電動工具などを落としたときなど、事故の原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ハンディソーについての注意事項

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、ハンディソーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

△ 警告

- **初めて使用する方は、電動工具と保護具の使い方について、経験を積んだ作業員から実技教育を受け、取扱説明書をよく読んでから使用してください。**
初めはソーホース(作業馬)などの上に載せた丸太を切断して練習してください。
- ◆ 安全作業の知識がないまま操作すると、けがの原因になります。
- **袖口がきちんと閉まる長袖の作業服を着用してください。**
- ◆ 着用しないと、けがの原因になります。
- **すそ閉まりのよい長ズボンを着用してください。**
- ◆ 着用しないと、けがの原因になります。
- **使用するときは、全てのハンドルとガー**

- ドが取り付けられていることを常に確認してください。
- ◆ 不完全な電動工具や許可されていない改造が施された電動工具は、決して使用しないでください。
 - 注油やチェーン刃の張り、アクセサリーの交換は、取扱説明書の指示に従ってください。
 - ◆ 給油されていなかったりチェーン刃が適切に張られていなかったりすると、チェーン刃が破断したりキックバックの危険が増す恐れがあります。
 - 木材以外は切断しないでください。電動工具を用途以外には使用しないでください。
例えば、プラスチックや石、木材以外の建築材などを切断しないでください。
 - ◆ 電動工具を用途以外の作業に使用すると、事故の原因になります。
 - 木の伐採をしないでください。
 - ◆ 電動工具は、木の伐採を目的としていません。意図と異なる作業に使用すると、作業者や周囲の人に重傷を負わせる可能性があります。
 - 電動工具は、下から上への切断には適していません。
 - ◆ 意図と異なる作業に使用すると、作業者や周囲の人に重傷を負わせる可能性があります。
 - 作業は視界の良い日中に行なってください。
 - ◆ 暗い場所での作業は、けがの原因になります。
 - 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、必ず「メインスイッチ」に指が掛かっていないことを確かめたうえで、バッテリーを取り付けたり、電動工具を持ち上げたり、移動したりしてください。
 - ◆ スイッチに指を掛けて、運んだりバッテリーを取り付けたりすると、事故の原因になります。
 - 電動工具を起動する前に、チェーン刃が何にも接触していないことを確認してください。また、モーターが作動しているときは、身体の全ての部分をチェーン刃から離し、衣服や体がチェーン刃に巻き込まれないように注意してください。
 - ◆ 作業中に一瞬でも注意を怠ると、衣服や身体がチェーン刃に巻き込まれる恐れがあります。巻き込まれると、重傷を負う恐れがあります。
 - 作業する場所に、人や野生動物、ペットなどが居ないことを慎重に確認してください。
 - ◆ 人や野生動物、ペットに電動工具が当たるとけがの原因になります。
 - 作業中は、電動工具の音で他の音が聞こえないことがあります。
常に周囲の状況に気を付けてください。
 - 立ち木やはしご、屋根、不安定な支柱などの上で電動工具を使用しないでください。(イラストL参照)
 - ◆ このような場所で電動工具を使用すると、重傷を負う恐れがあります。
 - 常に足場がしっかりしていることを確認し、しっかりした安全で平らな地面に立っているときのみ、電動工具を使用してください。
 - ◆ 滑りやすい表面や不安定な足場では、バランスを失ったり、電動工具のコントロールを失ったりする恐れがあります。
 - 電動工具は両利きでの使用を目的としています。常に一方の手でリアハンドルを握り、もう一方の手でフロントハンドルを持ちます。(イラストF参照)
 - 電動工具を両手でしっかり保持し、安定した姿勢で作業してください。
 - ◆ 両手で保持し、安定した姿勢で作業しないと、けがの原因になります。
 - ガイドバーの先端部で切断しないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
 - チェーン刃が正しい位置にあることを常に確認してください。
 - ◆ チェーン刃の位置が正しくないと、チェーン刃が破断したり、キックバックが発生する恐れがあります。
 - 電動工具の先端部分やチェーン刃に、手や顔を近づけないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
 - 太い枝などにチェーン刃が挟まって動かなくなったときは、必ず「メインスイッチ」

を切り、電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、バッテリーを取り外してから取り除いてください。

- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込んだままにしたり、バッテリーを取り付けたままで行うと、重大な事故につながる恐れがあります。

- 張力がかかっている(曲げられている)大枝を切断するときは、跳ね返りに注意してください。

- ◆ 張力が解放されると、跳ね返った大枝が作業者に衝突したり、電動工具のコントロールを失ったりする恐れがあります。

- 細い枝や若木を切断するときは細心の注意を払ってください。

- ◆ 細い枝や若木がチェーン刃に引っ掛かり、作業者に向かって跳ね返ったり、引っ張られてバランスを崩したりする恐れがあります。

- 移動するときは、「メインスイッチ」を切ってください。チェーン刃が動いていない状態で身体から離し、リアハンドルを持って運んでください。

- ◆ チェーン刃を動かしたまま移動すると、けがの原因になります。

- チェーン刃の保守を行うときは、全ての指示に従ってください。また、電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、バッテリーを取り外してください。

- 電動工具を輸送したり保管したりするときは、チェーンカバーを取り付けてください。

- ◆ カバーを取り付けていないと、けがや事故の原因になります。

△注意

- 使用しないときや持ち運ぶときは、必ずチェーンカバーを取り付けてください。

- ◆ チェーンカバーを取り付けると、チェーン刃に誤って接触したときのけがの危険が低減されます。

- 作業を始める前に、必ずチェーン刃に注油してください。

- ◆ チェーン刃に注油しないまま使用すると、電動工具やチェーン刃の破損、けがの原因になります。

- チェーン刃を絶対に、素手でつかまないでください。

- ◆ けがの原因になります。

- 電動工具が完全に停止してから、台や床などに置いてください。

- ◆ 完全に停止してから置かないと、事故の原因になります。

キックバックについての注意事項

キックバックとは、ガイドバーの先端が木材に触れたりチェーン刃が丸太や木材に接触したとき、またはチェーン刃が木に挟まれたりしたとき、チェーン刃が突発的に反発し、電動工具を抑えきれなくなり、跳ね上がることです。場合によっては、木片の接触により、跳ね上がることがあります。

キックバックは、電動工具のコントロールを失う恐れがあり、重大な人身事故につながります。

キックバックは、誤使用、不適切な操作や作業条件が原因で起こる結果です。安全上の注意を守ること、キックバックによるけがなどを避けることができます。

電動工具の安全装置だけに頼らず、作業者として事故やけがのない切断作業を続けるために、適切な作業手順や作業条件を守って作業してください。

△警告

- 親指と他の指でハンドルを囲むようにしっかり握り、両手で電動工具を持ち、キックバックの衝撃に耐えられる姿勢を取ってください。電動工具から手を離さないでください。

- ◆ 適切な予防措置を取っていれば、キックバックは作業者がコントロールできます。

- キックバック防止のため、ガイドバー先端部(特にガイドバーの上部1/4の部分)での作業は行わないでください。

- 手を伸ばして作業しないでください。

- 肩の高さより上の位置で作業しないでください。(イラストL参照)

- この取扱説明書およびボッシュカタログに記載されている、交換用ガイドバーおよびチェーン刃以外を使用しないでください。

- ◆ 指定外の交換用ガイドバーおよびチェーン刃を取り付けると、チェーン刃の破損やキックバックの原因になる恐れがあります。
- キックバックが起こった場合に跳ね上がる方向へ、体を置かないでください。
- 保守やチェーン刃の研磨は弊社の指示に従ってください。

標準付属品

モデル名	EasyChain 18V-15-7
型番	ECHAIN 18V-15-7H
チェーン刃	1本
チェーンオイル(50ml)	1本
チェーンテンション調整リング	1個

本製品について

各部の名称

各部の名称の番号は、冒頭のイラスト内の番号を示しています。

- (1)チェーン刃ガード
- (2)テンションダイヤル
- (3)フロントハンドル
- (4)メインスイッチロック解除ボタン
- (5)メインスイッチ
- (6)リアハンドル
- (7)バッテリー取り付け部
- (8)バッテリー残量表示ランプ
- (9)ハンドガード
- (10)チップ排出口
- (11)カバー
- (12)締め付けノブ
- (13)チェーンカバー
- (14)チェーン刃
- (15)ガイドバー
- (16)バッテリー (別売品)
- (17)充電器 (別売品)
- (18)シリアル番号
- (19)チェーン刃の回転方向
- (20)マグネット
- (21)固定ボルト
- (22)ガイドフィン
- (23)チェーン刃張り用ボルト
- (24)チェーンスプロケット
- (25)バッテリー取り外しボタン
- (26)チェーンテンション調整リング

仕様

本体

モデル名	EasyChain 18V-15-7
型番	ECHAIN 18V-15-7H
チェーン速度 (無負荷時)	6.95m/s
ガイドバーの長さ	150mm
最大切断可能幅	130mm
工具不要のチェーン刃テンション調整 (SDS)	●
チェーン型式	325"-80BX
チェーン刃ドライブリンクゲージ	1.1mm (0.043インチ)
質量*1	
バッテリー未装着時	1.3kg
バッテリー装着時*2	1.7~2.0kg
推奨充電周囲温度範囲	0℃~+35℃
使用可能周囲温度範囲*3	0℃~+40℃
保管可能周囲温度範囲	-20℃~+50℃
振動3軸合成値*4	4.0m/s ²
シリアルナンバー	本体の銘板に記載されています
原産国	ハンガリー

*1 EPTAプロシージャ01/2014に準拠

*2 使用するバッテリーの容量により異なります。

*3 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

*4 EN62841-4-1規格に基づき測定

使用可能ボッシュ充電器

品番	AL 18... *5
----	-------------

使用可能ボッシュDIY・ガーデンツール用リチウムイオンバッテリー

品番	A 18.. LIG*5 PBA. 18 PBA 18V...
----	---------------------------------------

*5 ボッシュDIY・ガーデンツール用に限る

使い方

バッテリーを準備する

☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。

使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具ホームページ「ホーム＆ガーデン」を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

ボッシュ電動工具ホームページ:

<https://www.bosch.co.jp/pt/>

バッテリー(別売品)を点検する

- バッテリーは弊社指定のものか?
- バッテリーから液漏れが発生していないか?
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか?
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか?

バッテリー(別売品)を充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みになり、正しく充電してください。

バッテリー残量表示

バッテリー(16)の残量(目安)は、本体のバッテリー残量表示ランプ(8)で確認することができます。

バッテリー残量表示ランプ(8)は、メインスイッチ(5)を軽く、またはいっぱいに引き込むと数秒間点灯します。

バッテリー(別売品)を取り付ける・取り外す

(イラストD参照)

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(16)を取り付けたり取り外したりするときは、メインスイッチロック解除ボタン(4)が押し込まれた状態になっていないことを確認してください。

取り付け

⚠注意

- ◆ バッテリー(16)を取り付けるときは、必要以上の力を加えないでください。
- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

バッテリー(16)を、本体のバッテリー差し込み口に“カチツ”と音がするまで押し込みます。

取り外し

⚠注意

- ◆ バッテリー(16)を引き抜く際、けがをしないよう注意してください。

バッテリー取り外しボタン(25)を押しながら、バッテリー(16)を本体から引き抜きます。

作業前の準備をする

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、必ず本体からバッテリー(16)を取り外してください。
- ◆ チェーン刃(14)を取り扱うときは、厚手の手袋を着用してください。

チェーン刃に注油する

(イラストC参照)

チェーン刃(14)は、動作中に自動的に潤滑されません。

作業前にチェーン刃(14)を点検し、必要に応じてチェーンオイル(標準付属品)を注油してください。

- ☞ 必ず手袋を着用してください。
- ☞ チェーンオイルなしで本体を使用すると、チェーン刃が損傷する恐れがあります。チェーン刃の寿命と切断性能は、最適な潤滑によって決まります。
- ☞ 再生油や古くなった油は絶対に使用しないでください。認可されていない油を使用すると、保証の対象外になります。
- ☞ 標準付属品のチェーンオイルを使い切った後は、市販品のチェーンオイルをご購入ください。
使用可能チェーンオイル:
生分解性チェーンオイル(RAL-UZ48による)

1. 本体から、バッテリー(16)が取り外されているか確認します。
バッテリー(16)が取り付けられているときは、取り外してください。
2. カバー(11)を上にして、本体を適切な場所に置きます。
3. ガイドバー(15)とチェーン刃(14)の間にチェーンオイルを注油します。
4. バッテリー(16)を取り付けます。
5. メインスイッチ(5)を引き込んで、短時間作動させ、チェーンオイルをガイドバー(15)とチェーン刃(14)全体に均等に行き渡らせます。

チェーン刃の張りを調節する

(イラストB7参照)

⚠警告

- ◆ 使用前と初めの1カット後に、必ずチェーン刃(14)の張りを確認してください。
- ◆ 使用中は、定期的にチェーン刃(14)の張りを確認してください。チェーン刃(14)の位置がずれていたり、張りが不適切な状態で使用すると、チェーン刃(14)の破損、キックバック、けがの原因になります。
- ◆ チェーン刃(14)が新しいときは、特に伸びやすいので、張りの調節を怠らないでください。
- ◆ チェーン刃(14)が熱いときは、チェーン刃(14)を調節しないでください。
チェーン刃(14)が熱いとき調節すると張りすぎたりし、チェーン刃(14)が冷めたときにガイドバー(15)にきつく当たりすぎたりします。

☞ チェーン刃(14)の寿命は、主に十分な給油と正しい張りによって決まります。

1. 本体から、バッテリー(16)が取り外されているか確認します。
バッテリー(16)が取り付けられているときは、取り外してください。
2. 本体を安定した平らな面に置きます。
3. 締め付けノブ(12)を反時計方向に回して緩めます。
4. テンションダイヤル(2)を回して、チェーン刃(14)の張りを調節します。
ガイドバー(15)の中央部でチェーン刃(14)を持ち上げたとき、2～3mm持ち上がる程度が適正です。
5. 適切な張りになったら、締め付けノブ(12)

を時計方向にしっかり回して、締め付けノブ(12)を倒します。カバー(11)が固定されます。

カバー(11)が固定されたら、テンションダイヤル(2)を回さないでください。

☞ チェーン刃(14)の張りがきつすぎる場合は、締め付けノブ(12)を起こして、少し反時計方向に回して軽く緩めます。

テンションダイヤル(2)を一の方向に回し、張りを再調整し、締め付けノブ(12)を時計方向にしっかり回して、締め付けノブ(12)を倒します。

チェーン刃を交換する

(イラストB1～B7参照)

摩耗や損傷で切れ味が悪くなったチェーン刃(14)は交換してください。

チェーン刃(14)は長期間の使用や、木材以外の物体との接触により、切れ味が悪くなることがあります。

最適な切断と安全を確保するため、チェーン刃(14)は鋭利な状態で使用してください。

⚠警告

- ◆ ボッシュ純正のチェーン刃(14)と交換してください。
指定外のチェーン刃(14)を取り付けると、ガイドバー(15)から外れたりし、けがや事故の原因になります。
- ◆ チェーン刃(14)は改造しないでください。
- ◆ チェーン刃(14)は自分で研磨しないでください。
新しいチェーン刃(14)と交換するか、専門業者に研磨を依頼してください。

⚠注意

- ◆ ドライブリンクゲージが1.1mmのチェーン刃(14)のみを使用してください。

☞ 工具を使用しないでください。

1. 本体から、バッテリー(16)が取り外されているか確認します。
バッテリー(16)が取り付けられているときは、取り外してください。
2. 本体に付着している切り粉などを清掃します。
3. テンションダイヤル(2)を一の方向に止まるまで回して、チェーン刃(14)の張りを緩めます。

4. 本体を平らな面に横にして置きます。
 5. 締め付けノブ(12)のノブを起こし、反時計方向に回して緩めます。
 6. カバー(11)を取り外します。
 7. チェーン刃ガード(1)を矢印の方向に開きます。(イラストB2参照)
 8. ガイドバー(15)とチェーン刃(14)を取り外します。
 9. ガイドバー(15)からチェーン刃(14)を取り外します。
 10. 取り付けるチェーン刃(14)をガイドバー(15)の溝に押し込みます。
 - ☞ チェーン刃(14)は、本体に記されているチェーン刃の回転方向(19)に合わせて取り付けてください。(イラストB1参照)
 11. ガイドバー(15)の長穴に固定ボルト(21)を合わせ、チェーン刃(14)のガイドバー(15)に掛かっていない部分をチェーンスプロケット(24)にかみ合わせながら、ガイドバー(15)を取り付けます。(イラストB2参照)
 12. 全ての部品がしっかりとまっているか確認し、チェーン刃(14)とガイドバー(15)の位置を保ちます。
 - ☞ ガイドバー(15)は、マグネット(20)を利用して位置がずれないようにします。
 13. チェーン刃(14)が部分的に張られるまで、テンションダイヤル(2)を時計方向に回します。
 14. カバー(11)を取り付けます。(イラストB4参照)
 15. 締め付けノブ(12)を時計方向に回して、カバー(11)を軽く固定します。
 16. テンションダイヤル(2)を“+”の方向に回し、チェーン刃(14)を張ります。(イラストB5参照)
- ガイドバー(15)の中央部でチェーン刃(14)を持ち上げたとき、2～3mm持ち上がる程度が適正です。
- ☞ チェーン刃(14)は、片手で持ち上げてください。両側から引っ張らないでください。
- ☞ チェーン刃(14)を張りすぎた場合は、テンションダイヤル(2)を一の方向に回し、再調整してください。

チェーンテンション調整リングを使用する

標準付属品のチェーンテンション調整リング(26)を使用すると、容易にチェーン刃(14)の張りを調整することができます。

- 1) 保護手袋を着用して、ガイドバー(15)の中

- 央部でチェーン刃(14)を持ち上げ、チェーンテンション調整リング(26)をガイドバー(15)とチェーン刃(14)の間に挿入します。
- ☞ ガイドバー(15)とチェーン刃(14)の間にチェーンテンション調整リング(26)を取り付けることができない場合、チェーン刃(14)に過度の張力がかかっています。テンションダイヤル(2)を“－”の方向に回して、チェーン刃(14)の張力を緩めてください。
- 2) チェーンテンション調整リング(26)のフックがループの位置に揃うまで、テンションダイヤル(2)を回して調整します。(イラストB5参照)
 - 3) フックとループの位置が揃ったら、チェーンテンション調整リング(26)を取り外します。
 - 4) チェーン刃(14)の張りが適正か確認します。
- ガイドバー(15)の中央部でチェーン刃(14)を持ち上げたとき、2～3mm持ち上がる程度が適正です。
17. 適切な張りになったら、締め付けノブ(12)を時計方向にしっかり回して、締め付けノブ(12)を倒します。カバー(11)が固定されます。
- カバー(11)が固定されたら、テンションダイヤル(2)を回さないでください。
- ☞ チェーン刃(14)を張りがきつすぎる場合は、締め付けノブ(12)を起こして、少し反時計方向に回して軽く緩めます。
- テンションダイヤル(2)を一の方向に回し、張りを再調整し、締め付けノブ(12)を時計方向にしっかり回して、締め付けノブ(12)を倒します。
18. チェーン刃ガード(1)を閉じます。

作業する

⚠警告

- ◆ 作業する前に、必ず安全および操作に関する情報をお読みください。
- ◆ 仕様に記載されている最大切断可能幅(130mm)を超える木材を切断しないでください。
- ◆ ガードやカバーが破損している場合は、使用しないでください。
- ◆ チェーン刃ガード(1)を改造したり、本体から取り外したりしないでください。
- ◆ チェーン刃ガード(1)が正しい位置にある

ことを確認してください。破損していたり、正しい位置に戻らない場合は使用せず、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

- ◆安全を確保できない場所では使用しないでください。
- ◆袖口がきちんと閉まる長袖の作業服、すそ閉まりのよい長ズボン、保護めがねと防音保護具(耳栓など)、保護手袋を着用してください。
適切な服装は、切り粉が飛び散ったり、本体と偶発的に接触したりすることによるけがの危険が小さくなります。
- ◆本体とチェーン刃(14)の状態を常に確認してください。チェーン刃(14)にチェーンオイルが注油されているか確認してください。(22ページ「チェーン刃に注油する」参照)
- ◆チェーン刃(14)が正しく取り付けられ、適正に張られていることを常に確認してください。
- ◆木の枝や茂みを透かすために使用しないでください。
- ◆常に足場がしっかりしていることを確認し、しっかりした安全で平らな地面に立っているときのみ、電動工具を使用してください。
- ◆作業は視界の良い日中に行なってください。
- ◆作業中に振り回されないよう、本体を確実に保持してください。
この電動工具は、両利きで使用できます。常に片手でリアハンドル(6)を握り、もう一方の手でフロントハンドル(3)を握って本体を持ちます。(イラストF参照)
- ◆キックバックを避けるため、平らな角度で切ってください。
- ◆回転しているチェーン刃(14)には触れないでください。
- ◆チェーン刃(14)が地面や周囲の設備に接触しないように注意してください。
- ◆作業場に人や動物、障害物がないことを常に確認してください。(イラストK参照)
- ◆切り株や切断した枝、根などにつまづかないように注意してください。
- ◆現場での移動時は、電源を「切」にし、チェーンカパー(13)を装着し、フロントハンドル(3)を持ってください。

☞ 始業後1～3時間毎に、クリーニングを行っ

てください。(28ページ「クリーニング」参照)

☞ バッテリー(16)を交換したときは、作業を始める前に本体が起動することを確認してください。

キックバック (イラストH参照)

チェーン刃ガード(1)は、チェーン刃の先端が誤って木材に押し付けられた場合のキックバックを防ぎます。チェーン刃ガード(1)を改造したり、本体から取り外したりしないでください。

キックバックは、チェーン刃(14)の先端が材料に触れたり、チェーン刃(14)が詰まったりしたときに発生する可能性があります。

キックバックが発生すると、チェーン刃(14)が予期せぬ反応を起こし、作業者や周囲の人に重傷を負わせる可能性があります。

横方向、斜め方向、縦方向の切断には特に注意してください。危険な状況では、けがを避けるためにメインスイッチ(5)を離してください。

キックバックを防ぐには

- ボッシュ純正のチェーン刃(14)を使用する
- 切れなくなったチェーン刃(14)、緩んだり、伸びたり、ひどく摩耗したりしたチェーン刃(14)は、取扱説明書の指示に従って交換する
- チェーン刃(14)を適正に張る
- ハンドルをしっかり握り、常に両手で本体を持つ
- 肩の高さより上で切断しない
- ガイドバー(15)を平らな角度にして切断する
- ガイドバー(15)の先端で作業しない

電子セル保護システム(ECP機能)

本機には、電子セル保護システム(ECP機能)がついております。

本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

本体が自動で停止した状態で「メインスイッチ(5)」を引き込み続けると、故障の原因になります。本体が突然停止したときは、作業を一時中断してください。

[1] 下記を点検する

- ・チェーン刃(14)は、正しく取り付けられているか
- ・チェーン刃(14)は、鋭利か
チェーン刃(14)の状態は、切断能力に影響します。鋭利なチェーン刃(14)だけが過負荷を防ぎます。
- ・チェーン刃(14)は、適正に張られているか
- ・チェーン刃(14)にチェーンオイルが注油されているか
- ・チェーン刃ガード(1)が正しく取り付けられているか
チェーン刃ガード(1)が通常の位置に戻らない場合は、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

[2] 周囲を整備し安定した足場を確保する

作業場所および周囲にけがや事故につながるものがないか確認し、ある場合は取り除いてください。

[3] チェーンカバー(13)を取り外す

[4] バッテリー(16)を取り付ける

⚠危険

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー(16)以外は、取り付けしないでください。
指定外のバッテリー(16)を取り付けると、本体が誤作動したり、損傷したりする恐れがあります。

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(16)を取り付けるときは、メインスイッチロック解除ボタン(4)が押し込まれた状態になっていないことを確認してください。

⚠注意

- ◆ バッテリー(16)を取り付けるときは、必要以上の力を加えないでください。
- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

バッテリー(16) (別売品) を、本体のバッテリー差し込み口に“カチツ”と音がするまで押し込みます。

[5] 本体を両手で持つ

(イラストF参照)

一方の手でリアハンドル(6)を握り、もう一方の手でフロントハンドル(3)を握ります。

[6] 電源を“入”にする(イラストE参照)

⚠警告

- ◆ チェーン刃(14)が材料に触れないように注意してください。

メインスイッチロック解除ボタン(4)を押しながら、メインスイッチ(5)をいっぱいまで引き込みます。

メインスイッチ(5)をいっぱいまで引き込んだ後、メインスイッチロック解除ボタン(4)を離します。

☞ 安全のため、メインスイッチ(5)はロックできません。作業中は引き込み続けてください。

☞ チェーン刃(14)を木材に当てる前に十分に回転を上げてください。

[7] 切断を始める

⚠危険

- ◆ 木材および木製品以外は切断しないでください。
- ◆ 作業中は手袋を着用し、両手でしっかり本体を保持してください。
- ◆ 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
- ◆ 片手での操作は、絶対にしないでください。
- ◆ 無理な姿勢で作業しないでください。常に確実な足場とバランスを保ってください。
- ◆ 作業中は、本体を身体から離して持ってください。
- ◆ 腕を完全に伸ばして本体を操作しないでください。
- ◆ 届かない場所を切断しようとしたり、はしごに乗って切断しようとしたりしないでください。
- ◆ 肩の高さより上で切断しないでください。
- ◆ 完全に切り落とす場合、切断が完了して本体が材料から離れるとき、本体の重さが予想外に変化します。切断終了間際は、バランスを崩したりコントロールを失ったりしないように注意してください。脚

をけがする危険があります。

- ◆ 切断中は石や釘などにチェーン刃(14)が当たらないよう、常に注意してください。当たると飛び散ったり、チェーン刃(14)が損傷したり、作業者や近くの人が重大なけがをしたりする恐れがあります。
- ◆ 回転中のチェーン刃(14)は、金網や地面から離してください。
- ◆ 作業場に電源ケーブルがないことを確認してください。

⚠ 注意

- ◆ 必要以上に本体を強く押し付けしないでください。
必要以上に強く押し付けると、チェーン刃(14)を傷めて切断効率が下がったり、本体が故障したりします。

基本的な切断

(イラストI1、I2参照)

- ☞ 作業は、回転が完全に上昇してから開始してください。
- 1. メインスイッチ(5)をいっぱいまで引き込み、回転を十分に上げます。
- 2. チェーン刃(14)を材料に当て切断します。無理な力を掛けず、チェーン刃(14)の動きに任せてください。
- ☞ チェーン刃ガード(1)は、補助ハンドルを保護するために取り付けられています。材料を切断すると、チェーン刃ガード(1)が上に移動します。切断後、チェーン刃ガード(1)は開始位置に戻ります。
- 3. チェーン刃(14)が回転している間に、本体を材料の切り込みから抜きます。

丸太の切断

(イラストG参照)

- 1. 丸太を固定します。
平らで堅い表面に立ったソーホース(作業馬)やくさびで丸太を固定してください。
- 2. 無理な力を掛けず、支点に最小限のてこの力を加えて切断します。
丸太のゆがみやチェーン刃(14)の詰まりを予防するため、常に支点の外側で丸太を切断してください。

枝払い

(イラストJ参照)

枝払いは倒れた木の枝を切り落とす作業で

す。

枝払いをするときは、地面に当たっている大枝で木を支えます。

小枝は、図のように1方向で切り落とします。最後に木を支えている大枝を切断します。

[8] 電源を“切”にする

メインスイッチ(5)を離します。

- ☞ メインスイッチ(5)を離してもチェーン刃(14)が停止しないときは作業を中止し、ボッシュサービスセンターに連絡してください。

[9] バッテリー(16)を取り外す

バッテリー取り外しボタン(25)を押しながら、バッテリー(16)を引き抜きます。

[10] チェーンカバー(13)を取り付ける

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



<http://www.jbrc.com/>



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出ください。

お手入れと保管

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(16)を本体から取り外し、お手入れしてください。
- ◆ チェーンカバー(13)を取り付けて、お手入れしてください。
- ◆ けがの発生を防ぐため、手袋を装着してチェーン刃(14)のお手入れをしてください。

クリーニング

始業後1～3時間に1回行うクリーニング

始業後1～3時間ごとに、下記のクリーニングを行ってください。

- カバー(11)、ガイドバー(15)、チェーン刃(14)を取り外し、おがくずや切りくずをブラシで清掃する
- カバー(11)で覆われていた場所や、チェーン sprocket(24)に付着したおがくずや切りくずをブラシで清掃する

作業終了後に行うクリーニング

作業終了後に下記のクリーニングを行ってください。

- 通風口などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- モーター冷却用穴から切りくずを取り除く
- バッテリー取り外しボタン(25)やバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

- 乾いた、柔らかい布で本体のプラスチック部の汚れをふき取る
- ☞ 水や溶剤、研磨剤を使わないでください。
- カバー(11)、ガイドバー(15)、チェーン刃(14)を取り外し、付着した切りくずなどをブラシを使用して取り除く
- チェーン sprocket(24)、カバー取り付け部、ガイドバー取り付け部に付着したゴミ、ホコリをブラシを使用して取り除く

定期点検

⚠警告

- ◆ 交換、修理が必要な場合は、そのまま使用しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

定期的の下記を点検してください。

- チェーン刃(14)は、緩んだり、外れたりしていないか
- チェーン刃(14)は、摩耗したり、損傷したりしていないか
- ガイドバー(15)は、固定部に緩みがないか
- ガイドバー(15)は、外れたり、損傷したりしていないか
- チェーン刃ガード(1)が正しい位置にあるか
- チェーン刃ガード(1)が損傷していないか
- スプロケットは、摩耗していないか
- ☞ スプロケットの交換は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。

保管

使った後は、バッテリー(16)を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。

- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。
- 本体の上に物を置かない。
- チェーンカバー(13)を取り付けて保管する。

廃棄について

バッテリー以外の本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ①『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症状	原因	対処
本体が作動しない	バッテリー(16)が取り付けられていない	バッテリー(16)を取り付ける
	バッテリー(16)が消耗している	バッテリー(16)を充電するか交換する
	バッテリー(16)が完全に接続されていない	“カチッ”と音がするまで押し込む
	バッテリー(16)の温度が最適温度範囲外になっている	バッテリー(16)が最適温度範囲内になるまで待つ、交換する
	本体の温度が最適温度範囲外になっている	作業可能温度範囲内になるまで待つ
	チェーン刃(14)を強く張りすぎている	チェーン刃(14)の張りを調節する(23ページ参照)
	本体内部が故障している	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
本体が断続的に作動する	本体内部の配線に欠陥がある	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
	「メインスイッチ(5)」が壊れている	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
モーターは起動するが、チェーン刃(14)が動かない	バッテリー(16)が消耗している	バッテリー(16)を充電するか交換する
	チェーン刃(14)にチェーンオイルが注油されていない	チェーン刃(14)にチェーンオイルを注油する(22ページ参照)
	本体内部が故障している	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
チェーン刃(14)が乾燥している	チェーン刃(14)にチェーンオイルが注油されていない	チェーン刃(14)にチェーンオイルを注油する(22ページ参照)
チェーン刃(14)/ガイドバー(15)が熱い	チェーン刃(14)にチェーンオイルが注油されていない	チェーン刃(14)にチェーンオイルを注油する(22ページ参照)
	チェーン刃(14)の張りが強すぎる	チェーン刃(14)を張り直す(23ページ参照)
	チェーン刃(14)の切れ味が悪い	チェーン刃(14)を交換する(23ページ参照)

症状	原因	対処
本体が振動する/正常に切れない	チェーン刃(14)の張りが弱すぎる	チェーン刃(14)を張り直す(23ページ参照)
	チェーン刃(14)の切れ味が悪い	チェーン刃(14)を交換する(23ページ参照)
	チェーン刃(14)が摩耗している	チェーン刃(14)を交換する(23ページ参照)
	チェーン刃(14)の歯が逆に向いている	チェーン刃(14)の歯を正しい向きに取り付け直す
過度に振動したり、騒音がしたりする	本体が故障している	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する
	チェーンオイル不足でチェーン刃(14)に過度の摩擦がおきている	チェーン刃(14)にチェーンオイルを注油する(22ページ参照)
	チェーン刃(14)が汚れている	チェーン刃(14)を清掃する
	作業の仕方が適切でない	「作業する」を参照し、正しく作業する
1充電当たりの使用時間が短い	チェーンオイル不足でチェーン刃(14)に過度の摩擦がおきている	チェーン刃(14)にチェーンオイルを注油する(22ページ参照)
	チェーン刃(14)が汚れている	チェーン刃(14)を清掃する
	作業の仕方が適切でない	「作業する」を参照し、正しく作業する
	バッテリー(16)がフル充電されていない	バッテリー(16)をフル充電する
	バッテリー(16)の電子セル保護システムが作動した	バッテリー(16)を冷ましてから始動する
	バッテリー(16)の寿命が尽きた	バッテリー(16)を交換する
チェーン刃(14)の回転が遅い	バッテリー(16)が消耗している	バッテリー(16)を充電するか交換する
	バッテリー(16)の温度が適正温度の範囲外になっている	バッテリー(16)が適正温度範囲(0～45℃)に戻るまで待つ

修理を依頼するときは

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール

0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、

TEL.03-5485-6161をご利用ください。

コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ

<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813

埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030

FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104

福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486

FAX 092-963-3407



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ:<http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。

(1619JL0009)

F 016 L94 650 (2024.02)



F 016 L94 650

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。